

リアルとオンラインの 行きつけの田舎づくりに向けて

- ・行きつけの田舎
- ・アンケートの取組 —チームアンケート—
- ・集まって楽しい“語り場” —チーム語り場—



仁徳地域商会



「行きつけの田舎」

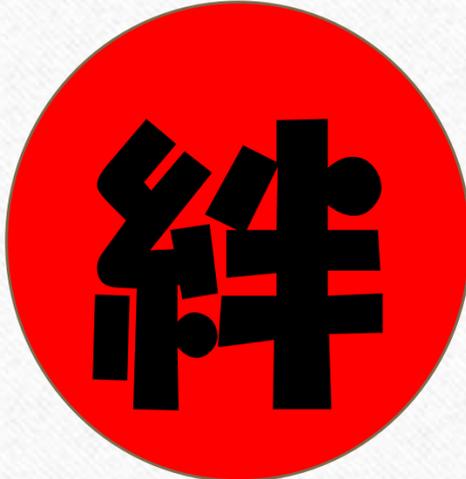
～田舎(農村)価値の共創循環による絆づくり～

目指している「行きつけの田舎」とは

地域外家族

- いつでも快く受け入れてもらえる
- ②相談に乗ってもらえる
- ③愚痴を聞いてもらえる
- ④新しい発見ができる
- ⑤訪れるとホッとする
- ⑥子どもが自然の中で遊べる場所がある
- ⑦自分のしたいことができる

共創



地域住民

- ①仮割、田舎かめる
- ②また会うのが楽しい
- ③生きがいができる
- ④話相手がいる
- ⑤日常生活が充実

田舎体験
を企画

田舎体験
イベントを
実施

貸農園事業

新しい視
点から地
域を発見

共創循環

イベント参
加

農泊事業

地域や地
域住民を
知る

地域住民
との交流

プロボノの方々へ作業をお願いしたこと

●チームアンケート…山田英二さん

アンケートの取組

●チーム語り場…藤井航平さん

集まって楽しい“語り場”



アンケートの取組－チームアンケート－

1. アンケートのねらい

- 検討協議の場で言い残したことの把握
- 検討協議だけではなく、その実現に向けた継続的な参画

2. アンケート結果

①現在検討中の各種事業

- ・プロボノの多様な知見の提供と活用
- ・スモールスタートのすすめ
- ・事業の継続性の確保
- ・マーケティングの視点
- ・仁徳地域とつながりの維持

②検討協議の進め方

- ・プロボノの役割を増やす
- ・オンラインのメリット(広域的なつながり等)の活用
- ・仁徳地域に行きたいとの思い

③短期的・中長期的提言

- ・身近な事業を実践することが重要
- ・遠隔地からできる支援をおこないたい

3. アンケートから見えてきたもの

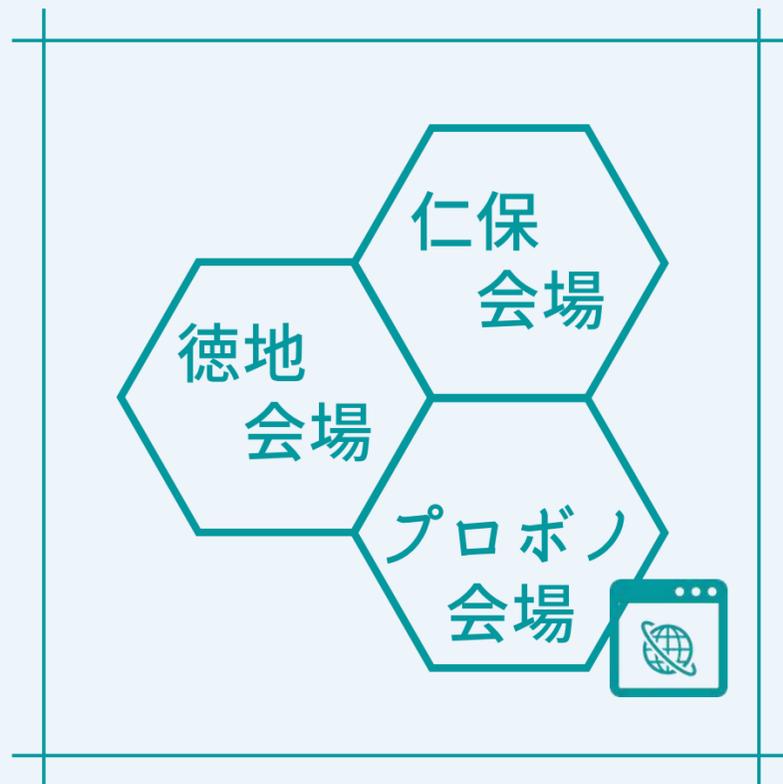
- 域外プロボノワーカーの可能性(知見とネットワークの活用)
- オンラインとリアル融合の必要性

集まって、楽しい

語り場



語り場 について



目的

- ・「こんなことがしたい」という人の思いを育て、実現する
- ・地域内・地域間・地域外の人との交流
- ・地域の情報の収集・発信

機能

- ・地域間の交流
- ・人材の発掘
- ・居場所づくり
- ・やりたいことを発表できる

会場（全3会場）

- ・仁保会場
- ・徳地会場
- ・プロボノ会場

オンラインで繋がる3会場



仁保会場



徳地会場



プロボノ会場

- ・「リアル×オンライン」の語り場は年4回くらい。イベントのような形で開催。
- ・参加者は3つの会場の参加者の様子が分かるようになっており、相互に交流することができる。

(参考) 2/20 プロボノ成果報告会

「語り場」当日の流れ



講話

話題提供者に「話し合いのタネ」を提供してもらう。



語り

話題提供者の話をもとに各会場で話し合う。



共有

会場ごとに出た参加者の意見を、会場間で共有する。

最後に…

第0回

【3/21（日）】にキックオフとして、開催
これを皮切りに「語り場」をスタートさせていく予定です。

話題提供者

- ・地域の物知り博士
 - ・プロボノワーカー
 - ・大学生
 - ・有名講師
- などを予定。
お話ししたい方、ご興味ある方、お声がけください。

ぜひご参加ください

仁徳地域商会「語り場」

第1回の開催を乞うご期待…！

成 果

●当初のねらいであった関係人口づくりができた

参加くださったプロボノの方々は、心温まる人たちで、事業終了後も関わってもらえることになっている

→仁徳地域商会サポーターズ倶楽部の運営

●3月21日(日)に、正式に発足する

プロボノの皆さんの、とにかく動き出せという温かいエールに背中を押され動き出す

→「発足会&語り場」を開催する